



2020年2月期 第3四半期 決算説明資料

株式会社ジェイグループホールディングス
(3063)
2020年1月17日



1. 第3四半期連結決算概要

決算ハイライト	4
連結損益計算書概要	5
連結貸借対照表概要	6
セグメント別業績概況	7

2. 第3四半期トピックス

売上高は減収・営業損失は改善	9
既存店収益状況	10
組織変革を9月からスタート	11
日本酒業態・カジュアル系九州業態が好調	12
今期の出店・リニューアル	13
店舗数の推移	14
今期の業績見通し	15



1. 第3四半期 連結決算概要



1

売上高は減収・営業損失は改善

台風、消費税増税の影響、不採算店舗や契約満了店舗の整理、一部の既存店の苦戦等により、売上高は前年同期比 92.9% の 10,242 百万円となり、780百万円の減収。

一方で営業損失は、収益構造改革に着手し、着手以降の第2四半期及び第3四半期(6月～11月)に 前期比64百万円利益改善し、第3四半期までの累計で 前期比11百万円改善。

2

組織改革を9月からスタート

部門数を72部門から57部門に集約、事業部体制に移行することにより組織のスリム化及び責任の明確化を図る。同時に、部門を跨ぐプロジェクトチームを発足し、全社一体となった改革をスタート。

3

日本酒業態、カジュアル系九州業態が好調

宴会需要に頼る大型店舗で苦戦が見られるが、日本酒業態、カジュアル系九州業態など中小規模の 比較的新しい業態が好調に推移。

連結損益計算書概要



	2019年2月期 第3四半期		2020年2月期 第3四半期		前年同期比 (%)
	実績(百万円)	構成比(%)	実績(百万円)	構成比(%)	
売上高	11,023	100.0	10,242 ¹	100.0	92.9
売上原価	3,539	32.1	3,320 ²	32.4	93.8
売上総利益	7,483	67.9	6,922	67.6	92.5
販売管理費	7,707	69.9	7,134	69.7	92.6
営業損失	△223	—	△211 ³	—	—
営業外収益	140	1.3	113	1.1	80.6
営業外費用	78	0.7	126 ⁴	1.2	161.4
経常損失	△161	—	△224	—	—
特別利益	40	0.4	148	1.4	361.1
特別損失	18	0.2	47	0.5	259.0
税金等調整前 四半期純損失	△138	—	△123	—	—
親会社株主に帰属する 四半期純損失	△191	—	△141	—	—

1 店舗整理による店舗数の減少や営業時間の短縮、大型店舗の法人宴会需要の減少、10月の大型台風の影響などがあり、売上高は前期比7.1%の減収。

2 飲食事業単独での原価率は28.2%となり、前年同期比で0.1%改善し適切なコストコントロールを実施

3 第2四半期以降の6月～11月で赤字幅を64百万円改善し、累計で前年同期比11百万円改善。

4 不動産事業における新規取得物件の長期借入金に付随する金利スワップ契約の評価損41百万円を計上。

連結貸借対照表概要



(百万円)	2019年2月期 期末	2020年2月期 第3四半期末	(百万円)	2019年2月期 期末	2020年2月期 第3四半期末
資産の部			負債の部		
流動資産	1,388	1,535	流動負債	2,870	3,024
現金及び預金	537	540	買掛金	382	471
売掛金	334	412	短期借入金※	1,098	1,243
たな卸資産	183	217	その他	1,389	1,308
その他	333	365	固定負債	6,140	6,322
固定資産	9,910	10,217	長期借入金	4,600	4,827
有形固定資産	7,750	8,227	その他	1,539	1,494
建物及び構築物	3,301	3,034	負債合計	9,010	9,346
土地	3,825	3,825	純資産の部		
その他	624	1,368	株主資本	2,226	2,340
無形固定資産	477	485	資本金	1,338	1,483
投資その他の資産	1,682	1,503	資本剰余金	1,268	1,407
繰延資産	20	16	利益剰余金	△305	△473
資産合計	11,318	11,769	自己株式	△76	△76
			その他の包括利益累計額	△31	△34
			新株予約権	11	7
			非支配株主持分	101	109
			純資産合計	2,308	2,423
			負債純資産合計	11,318	11,769

※一年以内返済予定長期借入金含む

セグメント別業績概況



(百万円)

		2019年 2月期 第3四半期	2020年2月期 第 3四半期	前年同期比 (%)	ポイント
飲食事業 居酒屋、レストラン等での 飲食サービスの提供	売上高	10,063	9,210	91.5	台風による店舗休業の影響、不採算店舗や契約満了店舗の整理、大人数の法人宴会需要の減少などにより減収減益。
	営業利益	321	313	97.5	
不動産事業 不動産の賃貸・管理業務等	売上高	1,506	1,526	101.4	テナントビルの賃貸収入は引き続き堅調に推移し、売上高・営業利益とも増収増益。
	営業利益	128	132	103.5	
ブライダル事業 挙式・披露宴サービスの提供	売上高	494	560	113.5	前期のリニューアルにより婚礼件数は前期同期比135.0%と順調に増加し、売上高・利益ともに改善。
	営業利益	△14	1	—	
その他の事業 広告代理業、卸売業等	売上高	681	560	82.3	広告制作事業を再編し、飲食子会社の自社制作に切り替えたため、グループ内取引が減少。
	営業利益	25	△0	—	
調整額	売上高	△1,721	△1,615	—	
	営業利益	△685	△658	—	
連結財務諸表 計上額	売上高	11,023	10,242	92.9	
	営業利益	△223	△211	—	



2. 第3四半期 トピックス



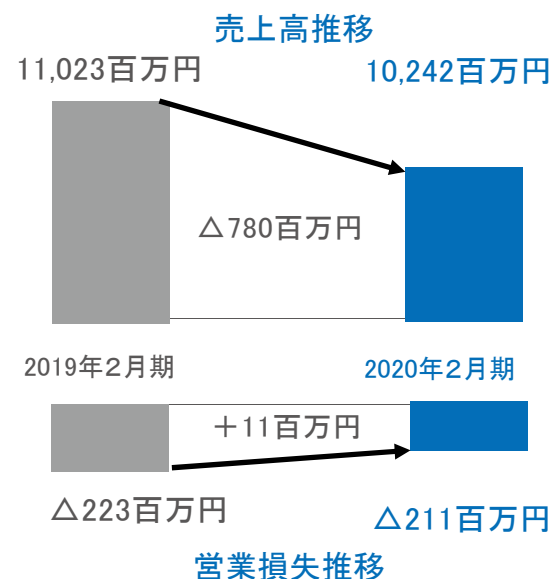
①売上高は減収・営業損失は改善

売上高

前期比(第3四半期累計)
780 百万円減収

営業損失

前期比(第3四半期累計)
11 百万円改善



1 店舗整理による売上高の減少

リニア中央新幹線の工事による立ち退きや、契約期間満了による閉店、戦略的に進めてきたSCの撤退、不採算店舗の整理等による店舗数の減少で約780百万円の減収。

2 台風による休店での減少及び消費税増税の影響による減少

台風19号の影響により、78店舗を休業をしたことにより売上高が減少。

10月以降は消費税増税の影響による減少。

3 収益構造改革に着手

売上高の減少に対し、利益面では収益構造改革に着手し、

第2四半期以降の損失は前期比で64百万円改善し、収益力が改善。

既存店収益状況



全既存店売上高の対前年同期比



居酒屋業態既存店売上高の対前年同期比



		2018年			2019年2月期 実績	2019年										2020年2月期 第3四半期 実績
		12月	1月	2月		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月		
居酒屋業態 (109店舗)	売上高前年同月比	97.2%	97.0%	98.0%	99.1%	92.4%	92.7%	95.2%	90.1%	96.5%	91.7%	91.8%	87.7%	95.9%	92.7%	
	来店客数前年同月比	97.2%	99.4%	101.4%	98.4%	95.7%	96.5%	98.4%	93.3%	98.9%	94.1%	94.8%	90.7%	99.0%	95.7%	
	客単価前年同月比	100.0%	97.5%	96.7%	100.7%	96.6%	96.2%	96.8%	96.5%	97.5%	97.5%	96.9%	96.6%	96.9%	96.8%	
レストラン業態 (8店舗)	売上高前年同月比	99.9%	99.8%	100.9%	98.4%	102.6%	105.0%	101.9%	101.6%	93.9%	99.2%	102.6%	88.7%	107.0%	100.0%	
	来店客数前年同月比	100.7%	100.3%	100.2%	97.6%	102.3%	100.3%	99.9%	101.5%	95.0%	99.6%	99.5%	91.2%	95.9%	98.2%	
	客単価前年同月比	99.2%	99.5%	100.7%	100.8%	100.3%	104.7%	102.0%	100.1%	98.8%	99.6%	103.1%	97.3%	111.6%	101.8%	
カフェ業態 (9店舗)	売上高前年同月比	145.9%	151.7%	129.9%	127.5%	123.1%	122.2%	107.8%	104.8%	98.9%	95.6%	87.6%	84.9%	83.8%	100.0%	
	来店客数前年同月比	122.7%	128.2%	120.3%	112.4%	119.0%	117.0%	102.9%	102.5%	102.1%	99.8%	87.8%	84.3%	86.1%	99.7%	
	客単価前年同月比	118.9%	118.3%	108.0%	113.4%	103.5%	104.5%	104.8%	102.2%	96.9%	95.8%	99.8%	100.7%	97.3%	100.3%	

※既存店基準: 開店日より24ヶ月を経過した店舗を対象としております。

②組織改革を9月からスタート



<営業体制>

事業部制の導入

営業プロジェクト

- カンパニー制度を改編し、事業部制として全社に導入
- 各事業部を跨いだプロジェクトチームを発足（芋蔵・九州業態プロジェクト、日本酒業態プロジェクト、和食居酒屋プロジェクト）

<社内体制>

組織のスリム化

組織横断
プロジェクト

- 部門数を72部門から57部門へ集約
- 責任の明確化を図るとともに中間管理職を削減
- 原価低減のための仕入・物流プロジェクト、全社的なコスト削減プロジェクトを発足

③日本酒業態・カジュアル系九州業態が好調



日本酒業態



吟醸マゴロ
金山

オープン日

2016年5月26日

第3四半期累計前年比

100.0%

光蔵
名駅

2018年10月1日

113.6% ※

チカイチ

2017年11月17日

116.5%

カジュアル系九州業態



きじょうもん

2017年3月7日

103.4%

きばくもん

2017年3月16日

119.5%

※光蔵名駅は、2018年10月1日オープンのため、10月～11月の2か月分の比較

今期の出店・リニューアル



新規出店3店舗・フランチャイズ出店3店舗・リニューアル8店舗

3月

3月1日リニューアルオープン
北海道バル MOU MOU
愛知県豊田市

3月1日リニューアルオープン
吟醸マグロ豊田店
愛知県豊田市

3月1日リニューアルオープン
個室焼肉 頂
愛知県豊田市

3月7日新規オープン
日本酒×発酵 八光
京都市中京区

3月16日リニューアルオープン
月のうさぎ
埼玉県志木市

5月

5月24日リニューアルオープン
MOU MOU バル
静岡市葵区

3月1日リニューアルオープン
芋蔵 GIRI
愛知県豊田市

3月1日リニューアルオープン
牛タン酒場 金べこ
愛知県豊田市

3月5日オープン(FC)
博多かわ屋 京橋南口店
大阪市城東区

3月7日オープン(FC)
博多かわ屋 京都烏丸四条店
京都市中京区

6月

6月18日リニューアルオープン
Mou Mou Cafe 豊橋店
愛知県豊橋市

10月

10月25日オープン(FC)
博多かわ屋 南海なんば店
大阪市浪速区

11月

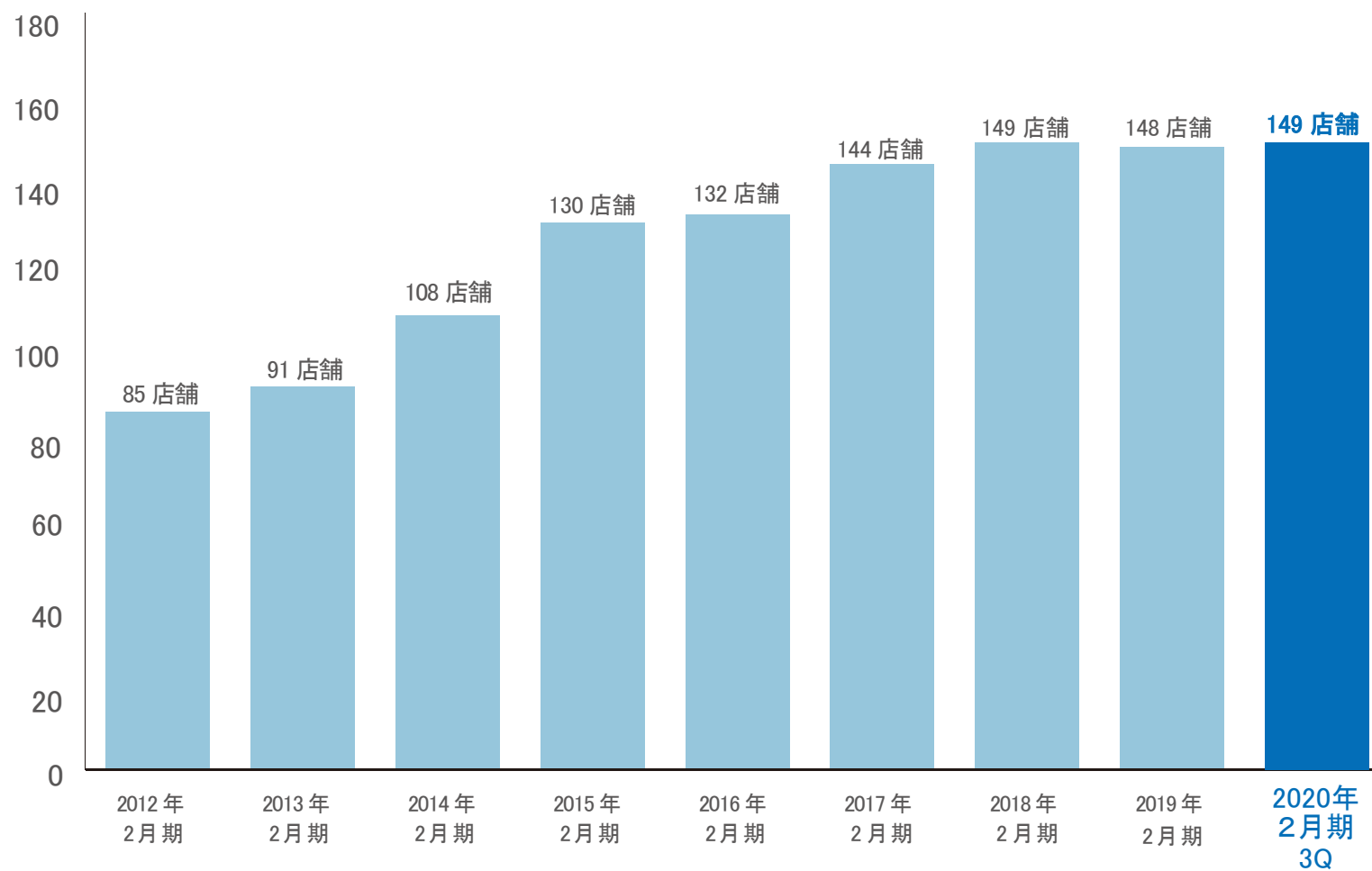
11月1日新規オープン
大治郎
スペイン バルセロナ

12月

12月3日オープン(FC)
博多かわ屋 すすきの店
札幌市中央区

12月3日新規オープン
博多かわ屋 名駅西口店
名古屋市中村区

2020年2月期第3四半期末時点で74業態、149店舗体制



今期の業績見通し



(百万円)

	2019年2月期 通期実績	2020年2月期 業績予想	前年同期比 (%)
売上高	15,056	15,100	100.3
営業利益	△51	118	—
経常利益	15	145	830.1
親会社株主に帰属する 当期純利益または純損失	61	26	42.4
配当金	中間 1.5円 期末 1.5円	中間 1.5円 期末 1.5円	

【IRに関するお問い合わせ先】
株式会社ジェイグループホールディングス
管理本部 IR担当
TEL:052-243-0026

当資料は株式会社ジェイグループホールディングスが作成したものであり内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。

複写及び無断転載はご遠慮下さい。当資料は当社が現在発行している、また将来発行する株式や

債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。

また、当資料は当社が信頼できると判断した情報を参考に作成していますが当社がその正確性を保証するものではなく、事業計

画数値に関しても今後変更される可能性があることをご了解下さい。